



競輪補助事業完了のお知らせ

この度、2024年度の競輪の補助を受けて、以下の事業を完了いたしました。

本事業の実施により、ご利用者とそのご家族の送迎希望にお応えするため、送迎車両を整備し、
以て福祉の向上につなげます。

記

事業名	2024年度 福祉車両・就労支援車両の整備 競輪補助事業
事業の内容	福祉車両の整備（移送車4（燃料車）〔送迎用車両（ワゴンタイプ）〕 /ニッサン キャラバン）
実施場所	宮崎県宮崎市山崎町浜川6番地 社会福祉法人 巴会
完了年月日	2024年11月27日



1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

近年の阿波岐原通所センターではご利用者の重度化や保護者の高齢化が進み、従来のマイクロバス等を使用した乗合形式ではご家庭の負担が増加してきていました。乗合ポイントへの集合や待機がご利用者本人や保護者にもたらす負担は大きく、自宅前までの送迎ニーズが年々高まっていました。このため、小回りの利く車両に置き換えて送迎を行うことで、家庭の負担を減らすだけでなく、ご自宅付近での送迎中の安全確保にもつなげたいと考えました。

(2) 実施内容

新規車両を使用して、阿波岐原通所センターの送迎ルートを再編成いたしました。ご利用者の特性上トラブルを避けて安全に運行するための配慮が必要な方も多く、また、高齢となられて外出が難しくなった保護者様からのニーズなど、既存車両と組み合わせながら安全に送迎サービスが行える編成となりました。

2 予想される事業実施効果

助成車両の導入により、阿波岐原通所センターでは使用するマイクロバスが3台から2台となり、ご自宅付近での車両乗降ができるご利用者が増えたことでご利用者やご家族の負担軽減につながりました。また、マイクロバスを使用した住宅地エリアでの運行割合が減少することで、職員の送迎業務の負担が低減したのみならず、地域住民の方の安心と安全にもつながっていくと考えています。安心・安全で快適な送迎サービスの展開は、ご利用者が楽しく社会に参画する一助となり、障がいにかかわらず活き活きと地域での生活を送ることのできる社会へとつながっていくと考えています。

社会福祉法人 巴会
理事長 長友 將靖